

「コミュニケーション英語Ⅱ」学習指導案

大分県立臼杵高等学校
指導教諭 麻生 朋成

- 1 日時 平成30年2月14日(水)5限 13:10~14:00
- 2 学級 2年3組(選択教室A)
- 3 教科書 ELEMENT English Communication II(啓林館)
- 4 単元名 Lesson 7 iPS Cells
- 5 単元設定の理由

(1) 教材観

本課では再生医療をめぐってどのような議論があるか、iPS細胞とは何か、どのように作られるのか、それによって医療がどう変わるか、現在どのような研究が進んでいるか等について書かれている。生命科学の最先端で働く山中教授の業績と考え方を知ることを通して、未来の医療のあり方や、自分の将来の仕事に対する姿勢について考えることができる教材である。

(2) 生徒観

理系コース(男子23名、女子16名)のクラスである。生徒には本課での学習を通して再生医療の現状について考える機会を持たせたい。生徒の作文や意見交換の様子を見ると、社会(世の中の出来事)と個人(自分)を結びつけて考える意識が薄いように感じる。知り得た情報を受け流すのではなく、自分自身の日常生活とのつながりを考え、それぞれの意見を伝え合う能力を身に付けることが生徒にとって必要であると感じている。

(3) 指導観

教科書内容の理解にとどまらず、学んだことを活用しながら生徒が英語でコミュニケーションを図ることを授業の目標としている。山中教授の取り組みを知ることによって将来の仕事に対する姿勢について考えさせたい。英語を学びつつ英語で理解し、考え、伝え合うことができるような場面を設定し、生徒が英語学習に主体的に取り組むよう指導したい。また、コミュニケーションの場面を設定し、ペアやグループで活動する機会をできるだけ多く設定したい。

6 単元の目標

教科書で知り得た情報をもとに、(ものごとの)優先順位に関する自分の考えを英語で表現することができる。

7 指導計画

別紙参照・・・Backward Design(逆引き設計)

8 本時の授業展開

(1) 本時の目標

(ものごとの)優先順位に関する自分の考えを英語で表現することができる。

(2) 本時までには終えていること

本文の内容理解、文法・語法理解、音読練習

(3) 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語理解の能力	外国語表現の能力	言語や文化についての知識・理解
		(ものごとの)優先順位について、自分の考えを英語で表現することができる。	

(4) 展開

時間	主な学習内容	主な学習活動	指導の手立て	評価
2分	1 本時の流れと目標の提示	本時の流れを理解し、目標を確認する。	スライドによる提示	
8分	2 グループでの会話 <Small Talk>	グループで会話する。 ※Topic What kind of job would you like to do in the future? ※Target Grammar 不定詞 (形式主語) It is 形容詞 (for 人) to ~	Topic の提示	
5分	3 内容理解 <Comprehension> ※Review	本文の内容を理解する。 (本文 pp 91 L.30) “Saving the patients” has always been the top priority on his list.		
10分	4 ペアでの会話① <Pair Talk①>	質問を用いて会話する。 (質問) About your school life, what is the top priority on your list?		
10分	5 ペアでの会話② <Pair Talk②>	質問を用いて会話する。 (質問) When you work as a (), what is the top priority on your list?	ペア活動の補助	活動の観察
10分	6 作文 <Writing>	自己表現活動②の内容について作文する。(60語程度)	作文の補助	ワークシート
5分	7 振り返り <Reflection>	活動を振り返る。	フィードバック	